

## 安心安全な相馬市づくり

無党派  
河内幸夫議員



問

夜間市民が安全に安心して通行できる明るいまちづくりについて問う。

答 行政区長を通じて要望があった場合、安全対策を進めてまいりたい。

道路に設置してある縁石や歩道の縁が夜間暗く見えにくい箇所があるため、人がつまずいたり車や自転車乗り上げたりする事故があるので危険防止のために街路灯の整備をするか、または、縁石を蛍光ペンキで塗装するか蛍光反射板を取り付けるなどの安全対策を講じるべきではないか。

問 夜間市民が安全に安心して通行できる明るいまちづくりについて問う。  
答 これまでに法令に基づいた道路照明の設置をはじめとして、通学路のカラー舗装、反射材のついたポールを設置や縁石に

反射材を付けるなど、完全に夜間通行できるように市道の整備を行ってきた。行政区長を通じて、道路拡幅や歩道の設置が困難な場所等に安全な通行を確保するための要望があった場合には、必要性を検証の上、可能な限り安全対策を進めてまいりたい。

問 学校、公園、児童施設、福祉施設周辺の防犯対策について問う。  
答 地域見廻り協議会によるパトロールを児童生徒の下校時刻に合わせて実施、地区PTAの方々が通学、下校時に見守る子ども見守り隊活動



視界が悪く、タイヤが縁石に乗り上がり動けなくなった軽自動車（沖ノ内地区）

## 消防団の組織運営と諸課題

問 再編を見据えての課題について問う。

答 分団間の団員数の格差解消、訓練指導員の増員、機能別消防団員の任用が課題である。



そうま維新  
浦島勇一議員

平成27年12月、平成29年3月定例会において、再編計画をも含めた消防団の組織運営について継続調査し、継続的に質問してきた。

当局においても、再編の必要性を認識し、鋭意検討されているものと考える。

本年度における再編計画を見据えて、4項目を問う。

問 再編を見据えての課題について問う。  
答 地域の安全・安心を担う消防団組織を現状に即した体制とするため、消防団の組織再編を検討するためのプロジェクト

チームを設置した。

これまでの主な検討内容は、団員数が多い分団と少ない分団の区域の再編及び分団内の班編成の見直し、消防技能向上のための訓練指導員の増員、退団した団員を特定消防団活動のみ従事する機能別消防団員として任用の3点となっている。

実際に市民生活の安全・安心を守る活動に尽力をいただいている消防団員の考えを最大限に尊重し、プロジェクトチームでの技能を深め、できる限り早期に新たな体制を構築できるように検討してまいりたいと考えている。

問 再編を見据えての課題について問う。  
答 地域の安全・安心を担う消防団組織を現状に即した体制とするため、消防団の組織再編を検討するためのプロジェクト



その他の質問

・全国市長会会長就任にあたって